

福井に伝わる江戸末期の医学書

文書館収蔵資料展示

平成 18 年 7 月 19 日(水)

~ 8 月 16 日(水)

文書館閲覧室

真田一郎家文書『済生三方』より
真田一郎家文書『四診備要』より

杉田玄白の孫、杉田成卿と適塾で有名な緒方洪庵は、江戸末期、東西の二大家と仰がれた蘭方医でした。

西洋医学の普及に貢献した二人の翻訳書と、福井藩医細井紫髯ゆかりの書物を紹介します。

